

2012年度(2013年3月期) 第2四半期決算説明会資料

2012年11月6日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp>
(営業情報 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp>)

目 次

I . 2012年度(2013年3月期) 第2四半期決算実績		2
II . 各セグメントの概況		14
III . 2012年度(2013年3月期) 通期業績予想		31
IV . 参考資料		38

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。
実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

I . 2012年度(2013年3月期) 第2四半期決算実績

国際輸送 海外現地法人2社

・Hankyu Hanshin International Logistics (SHANGHAI)

・Hankyu Hanshin Express (INDIA)

ユミルリンク

姫路ケーブルテレビ

ブックファースト

ハイ・セキュリティ・システム
クリエイティブ阪急
他2社

	2012年度第2四半期末	2011年度末	増減
連結子会社	102社	101社	増加:5社 減少:4社
持分法適用関連会社	10社	10社	増減なし
計	112社	111社	

2012年度第2四半期 連結損益比較表(サマリー)

単位：百万円

科 目	2012年度 第2四半期累計	2011年度 第2四半期累計	比較増減	摘要
営業収益	335,869	318,614	17,255	次ページ参照
営業利益	54,731	41,371	13,360	
営業外収益	4,506	9,857	△ 5,350	持分法による投資利益△4,638 (前期に負ののれん発生益64億円を計上：持分法適用関連会社であるエイチ・ツー・オー・リーディングが、2011/6/30付で自己株式を無償取得したことに伴い、当社グループの同社に対する持分比率が増加)
営業外費用	10,386	11,630	△ 1,243	支払利息△910
経常利益	48,851	39,597	9,253	
特別利益	309	4,553	△ 4,243	工事負担金等受入額△3,274
特別損失	3,827	7,664	△ 3,837	固定資産圧縮損△3,076
四半期純利益	28,173	21,283	6,890	

セグメント別営業成績(サマリー)

単位：百万円

	都市 交通	不動産	エンタテインメント コミュニケーション (EC)	旅行 国際輸送	ホテル	流通	その他	調整額	連結
営業収益									
2012年度2Q累計	96,596	89,951	57,492	38,567	31,513	26,671	12,821	△ 17,744	335,869
2011年度2Q累計	96,443	82,937	54,231	33,965	30,291	27,122	11,649	△ 18,028	318,614
差 引	152	7,013	3,261	4,602	1,221	△ 451	1,171	283	17,255
営業利益									
2012年度2Q累計	19,388	19,318	11,000	5,846	△ 242	927	△ 283	△ 1,222	54,731
2011年度2Q累計	17,554	14,388	8,940	1,920	△ 931	762	△ 9	△ 1,252	41,371
差 引	1,833	4,930	2,060	3,925	689	165	△ 274	30	13,360

不動産事業においてマンション分譲戸数が前年同期を上回ったほか、旅行事業・ホテル事業を中心に前期の東日本大震災の影響からの回復があったこと、また、旅行事業において海外旅行が好調に推移したこと、更には、エンタテインメント・コミュニケーション事業においてステージ事業が堅調に推移するとともに姫路ケーブルテレビ(株)などを新規連結したことなどから、連結全体で大幅な増収となった。

主に左記の増収要因等により、大幅な増益となった。

連結損益比較表(経常利益内訳)

単位：百万円

科 目	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	増 減
営業利益	54,731	41,371	13,360
営業外収益	4,506	9,857	△5,350
(内、持分法による投資利益)	(2,831)	(7,470)	(△4,638)
営業外費用	10,386	11,630	△1,243
(内、支払利息)	(9,626)	(10,537)	(△910)
経常利益	48,851	39,597	9,253

負ののれん発生益64億円を計上：
持分法適用関連会社であるエイ・ツー・オー・リテイリング*
が、2011/6/30付で自己株式を無償取得したことに
伴い、当社グループの同社に対する持分比率が増加

連結損益比較表(特別利益内訳)

単位：百万円

科 目	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	増 減
特別損益	△3,517	△3,110	△406
特別利益	309	4,553	△4,243
固定資産売却益	55	50	4
工事負担金等受入額	191	3,465	△3,274
その他	62	1,037	△974

連結損益比較表(特別損失内訳)

単位：百万円

科 目	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	増 減
特別損失	3,827	7,664	△3,837
固定資産売却損	55	52	3
固定資産圧縮損	183	3,260	△3,076
固定資産除却損	169	186	△16
事業整理損失引当金繰入額	2,135	—	2,135
その他	1,281	4,164	△2,882

高知新阪急ホテルの譲渡

連結損益比較表(当期純利益)

単位：百万円

科 目	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	増 減
税金等調整前四半期純利益	45,334	36,487	8,846
法人税等合計	16,590	14,804	1,785
(内、法人税、住民税及び事業税)	(7,546)	(3,816)	(3,730)
(内、法人税等調整額)	(9,043)	(10,987)	(△1,944)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,744	21,683	7,060
少数株主利益	570	400	170
四半期純利益	28,173	21,283	6,890

連結貸借対照表(資産)

単位：百万円

科 目	'12年度第2四半期末	対前年度末比較増減	備 考
(資産の部)			
流動資産	270,987	△4,299	受取手形及び売掛金の減少 など
固定資産	1,994,592	△4,501	(保有株式の時価下落などによる) 投資有価証券の減少 など
資産合計	2,265,579	△8,800	

連結貸借対照表(負債／純資産)

単位：百万円

科 目	'12年度第2四半期末	対前年度末比較増減	備 考
(負債の部)			
流動負債	548,899	△18,143	
固定負債	1,172,462	△10,073	
負債合計	1,721,361	△28,216	
(純資産の部)			
株主資本	542,514	21,092	当期純利益28,173－支払配当6,334 など
その他の包括利益累計額	△11,492	△3,363	
新株予約権	112	79	
少数株主持分	13,083	1,607	
純資産合計	544,217	19,416	
負債純資産合計	2,265,579	△8,800	

	2012年9月末	2012年3月末	比較増減	
連結有利子負債	1,163,342 (10,653)	1,183,647 (9,319)	△20,305 (+1,333)	営業キャッシュフローによる減少 など

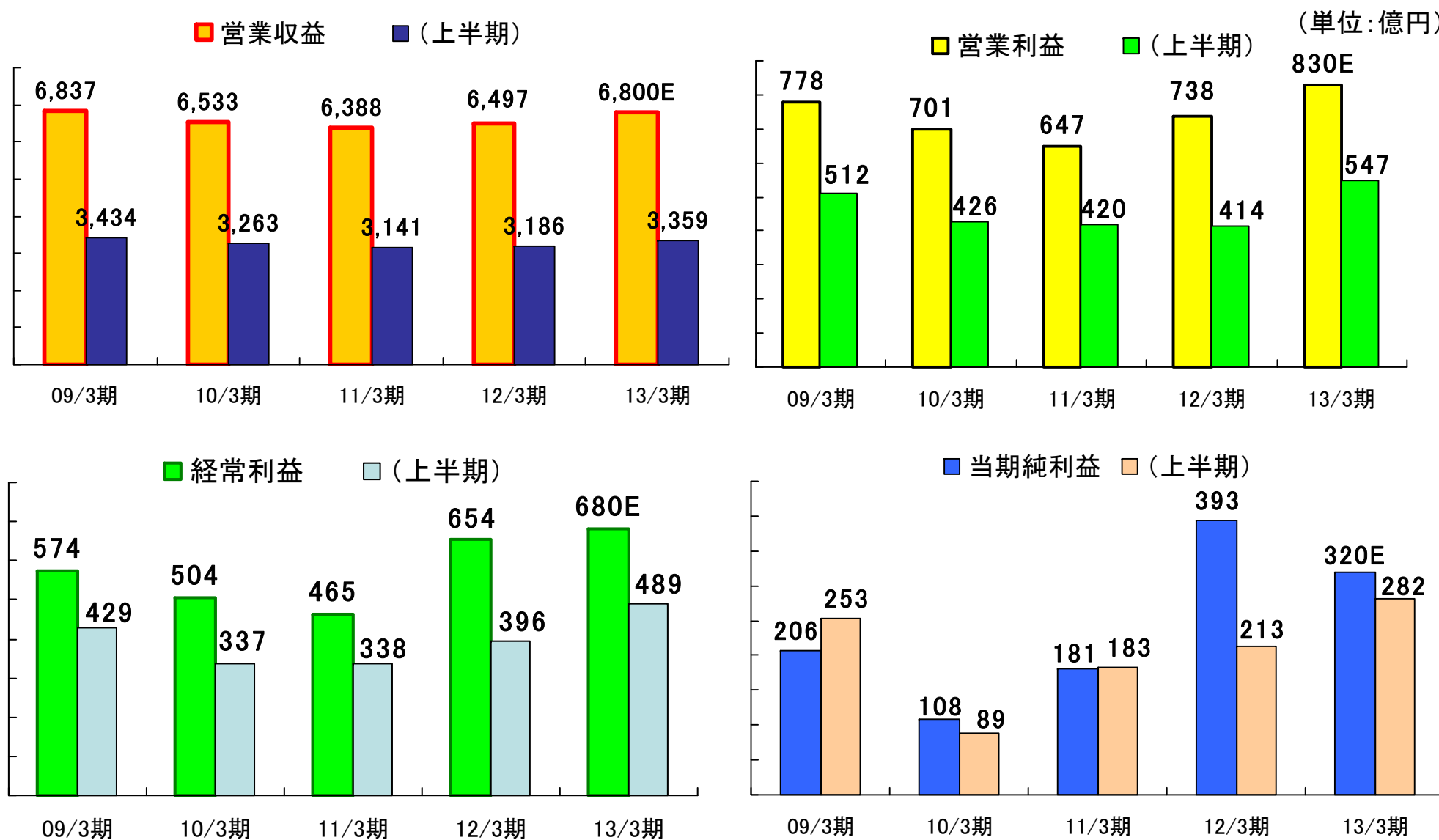
※ ()内はリース債務の金額【内数】

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	2012年度 第2四半期累計	2011年度 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,854	52,989	△1,135
うち、減価償却費	26,355	27,847	△1,491
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,097	△16,770	△8,326
うち、固定資産の取得による支出	△38,156	△35,274	△2,881
うち、固定資産の売却による収入	1,645	2,333	△688
うち、工事負担金等受入による収入	10,887	13,088	△2,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,948	△36,895	7,947
うち、短期借入金の純増減額	8,901	10,670	△1,769
うち、長期借入れによる収入	40,520	30,270	10,250
うち、長期借入金の返済による支出	△55,755	△50,391	△5,363
うち、社債の発行による収入	—	9,941	△9,941
うち、社債の償還による支出	△35,010	△30,000	△5,010
うち、配当金の支払額	△6,334	△6,334	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	200	101	98
現金及び現金同等物の増減額	△1,990	△574	△1,415

【ご参考】営業収益と利益の推移



※E=予想値 (2013/3期の通期の数値は予想値)

Ⅱ. 各セグメントの概況

単位：百万円

	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	差 引
営業収益	96,596	96,443	+152
営業利益	19,388	17,554	+1,833

(鉄道)： 前期の東日本大震災による出控えの影響からの回復のほか、沿線人口が増加していることなどから、運輸収入が堅調に推移し、増収増益

阪急運輸収入の増収： +329 [前年同期比+0.7%(定期・定期外合計)]

阪神運輸収入の増収： +171 [前年同期比+1.1%(定期・定期外合計)]

* 以上、全て第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計

自動車事業においてタクシー事業が減収になるなどの減収要因はあるものの、鉄道事業における増収や減価償却費・修繕費の減少等により、都市交通セグメント全体では増益

'12年度第2四半期実績(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
鉄道事業	725億円	+5億円
自動車事業	237億円	△2億円
都市交通その他事業	37億円	△2億円

※別途、調整額あり

《都市交通》 鉄道運輸成績(第2四半期実績)

《阪急電鉄》

	収 入				人 員			
	2012年度2Q累計 百万円	2011年度2Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率	2012年度2Q累計 千人	2011年度2Q累計 千人	比較増減 千人	増減率
定期外	30,129	30,004	124	0.4%	153,404	152,682	722	0.5%
定期	15,446	15,241	205	1.3%	157,639	155,686	1,953	1.3%
うち通勤	13,128	12,933	195	1.5%	106,955	105,426	1,528	1.4%
うち通学	2,317	2,307	10	0.4%	50,684	50,259	425	0.8%
合計	45,575	45,246	329	0.7%	311,044	308,368	2,675	0.9%

《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2012年度2Q累計 百万円	2011年度2Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率	2012年度2Q累計 千人	2011年度2Q累計 千人	比較増減 千人	増減率
定期外	10,136	10,017	119	1.2%	56,676	55,982	693	1.2%
定期	5,442	5,391	51	1.0%	56,323	55,620	702	1.3%
うち通勤	4,851	4,805	45	1.0%	44,200	43,639	561	1.3%
うち通学	591	586	5	0.9%	12,122	11,981	140	1.2%
合計	15,579	15,408	171	1.1%	112,999	111,603	1,396	1.3%

※阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計

《阪急電鉄》

運輸収入(第1種・第2種合計)

(単位:百万円)

定期・定期外合計	1Q	2Q	上半期 合計
2012年度実績	23,141	22,434	45,575
2011年度実績	22,941	22,304	45,246
増減	+199	+130	+329
増減率	+0.9%	+0.6%	+0.7%

対前年同期比の増減要因(推定)

・台風影響日数の減	+154百万円
・東日本大震災に伴う出控えのからの回復	+49百万円
・その他	+126百万円

《阪神電気鉄道》

運輸収入(第1種・第2種合計)

(単位:百万円)

定期・定期外合計	1Q	2Q	上半期 合計
2012年度実績	7,759	7,820	15,579
2011年度実績	7,673	7,734	15,408
増減	+85	+85	+171
増減率	+1.1%	+1.1%	+1.1%

対前年同期比の増減要因(推定)

・京セラドームイベント開催日数増	+77百万円
・台風影響日数の減	+44百万円
・東日本大震災に伴う出控えからの回復	+17百万円
・プロ野球(甲子園)来場者数減	△26百万円
・その他	+59百万円

旅客人員(第1種・第2種合計)

定期外旅客人員	対前年同期比 +0.5%
定期旅客人員	対前年同期比 +1.3%

旅客人員(第1種・第2種合計)

定期外旅客人員	対前年同期比 +1.2%
定期旅客人員	対前年同期比 +1.3%

単位：百万円

	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	差 引
営業収益	89,951	82,937	+7,013
営業利益	19,318	14,388	+4,930

(賃貸)： 賃貸事業については、営業収益・営業利益ともにほぼ前期並み

(分譲)： マンション分譲戸数の増加(+167戸：前年同期527戸→当期694戸※1)等により増収増益

※1 阪急不動産・阪急電鉄・阪神電気鉄道の持分戸数合計

(不動産その他※2)：梅田阪急ビル オフィスタワーの稼働率向上等により、増収増益

※2「不動産その他」には、梅田阪急ビル建替工事などの開発プロジェクトやプロパティマネジメント・ビルメンテナンス事業などが含まれる。

'12年度第2四半期実績(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
賃貸事業	406億円	△4億円
分譲事業	339億円	+58億円
不動産その他事業	220億円	+18億円

※別途、調整額あり

■梅田地区の商勢圏を強化し、今後の賃貸事業の大きな柱に

■事業方針

- ・梅田地区のランドマークにふさわしい大型複合ビルを建設
- ・周辺施設とのバリアフリー化ならびに回遊性の向上
- ・耐震性能、収益性等、不動産価値を高め周辺競合施設に対する優位性を確保
- ・百貨店の増床に加え、高層オフィスタワーを新設
 - ー新ビル延床面積:約254,000㎡
 - ー容積率:1,800%(都市再生特別措置法に基づき800%の容積緩和)

■建替スケジュール

- ・オフィスタワー竣工 : 2010年4月1日(開業:2010年5月6日)
- ・百貨店Ⅱ期棟オープン : 2012年10月25日
- ・百貨店グランドオープン : 2012年11月21日(予定)

■百貨店、オフィスの規模

[阪急百貨店うめだ本店]

	従前建物	新ビル
容積対象床面積	約107,600㎡	約140,000㎡
営業面積	約61,000㎡	約80,000㎡
売場階数	B1～9F	B2～13F
高さ	約45m	約60m

[オフィスタワー]

- フロア数 : 25層(17～41F)
- 1フロア当り延床面積 : 約3,700㎡
- 1フロア当り賃貸面積 : 約2,800㎡



建物外観(2012年9月撮影)



開通した南北・東西コンコース(10月20日全面開通)



梅田阪急ビル 位置図

■大阪の玄関口 新幹線新大阪駅に直結する利便性に優れた複合ビルを開発

■事業方針

- ・新大阪駅北側の社有地に、オフィス・ホテル・商業施設等からなる複合ビルを建設
- ・JR新大阪駅・地下鉄御堂筋線新大阪駅と直結し、高い利便性を確保
- ・歩行者動線の整備等により、周辺からのアクセス向上や地域のバリアフリー化にも貢献

■開発計画の概要

敷地面積	約4,150㎡
延床面積	約35,600㎡
賃貸面積	約16,800㎡(オフィス・商業部分)
建物規模	地上17階

■建物の概要

12～17階	： ホテル「レム新大阪」 (客室数 296室)
3～11階	： オフィス (賃貸床:約15,800㎡)
2～3階	： 商業施設 (賃貸床:約1,000㎡)
1階	： バスターミナル

■スケジュール

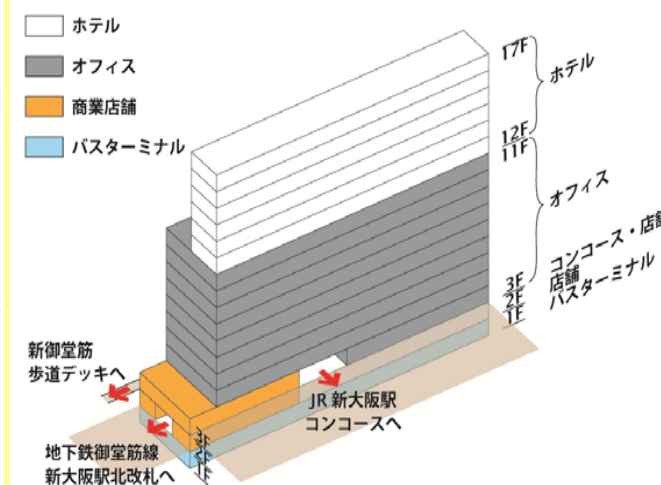
2012年7月31日	： 竣工
2012年8月22日	： コンコース供用開始 商業施設開業
2012年9月21日	： ホテル開業



新大阪阪急ビル位置図



建物外観(2012年7月撮影)



施設構成図

■2013年3月末の竣工を目指して、12社によるコンソーシアムで開発を推進中

■開発計画の概要

まちの開発ビジョン = 「多様な人々や感動との出会いが新しいアイデアを育むまち」

- ・7haに及ぶ開発区域において、街の中核機能「ナレッジキャピタル」を中心に、オフィス、商業施設、ホテル・サービスレジデンス、分譲住宅など多様な都市機能を複合
- ・約1haの大阪北口広場を設けるほか、豊富な水景・緑化空間を整備し、風格と界限性を兼ね備えた「空間」を形成
- ・本体工事は約9割まで進捗(2012年9月末時点)



建物外観(2012年8月撮影)

施設名	「グランフロント大阪 (GRAND FRONT OSAKA)」			
ブロック	Aブロック	Bブロック		Cブロック
階数	地上38階 地下3階	南棟 地上38階/地下3階	北棟 地上33階/地下3階	地上48階 地下1階
敷地面積	約10,571㎡	約22,680㎡		約4,666㎡
延床面積	約187,800㎡	約295,100㎡		約73,800㎡
容積対象面積	約168,800㎡	約260,600㎡		約53,700㎡
主要用途	オフィス	オフィス	オフィス ホテル・サービスレジデンス	分譲住宅 525戸
	商業施設	商業施設、ナレッジキャピタル		

■スケジュール

- 2013年3月末 : A・Bブロック竣工(予定)
- 2013年4月下旬 : まちびらき・商業施設開業(予定)
- 2013年夏 : ホテル営業開始(予定)
- 2013年8月 : マンション引渡開始(予定)



グランフロント大阪 ロゴマーク



位置図

■ マンション市況の動向を注視しながら、弾力的に供給戸数を設定

■ 事業方針

- ・安定的な利益計上に向け、候補物件を厳選しながら用地取得を推進していく。
- ・顧客ニーズをより重視した商品企画に努め、製・販・管の一貫体制により高品質を維持。

■ 地域戦略

- 【近畿圏】 阪急・阪神沿線及びその周辺。
- 【首都圏】 都心・城南・城西（東急沿線など）及びその周辺。

■ 分譲戸数

- ・2012年度は約1,500戸の引渡を予定（戸数は持分戸数）。

ジオ高槻ミュージズEX
(2013年6月竣工予定)



ジオタワー高槻
ミュージズフロント
(2012年6月竣工)

2012年度 主な竣工物件(近畿圏・首都圏毎に竣工予定順)

物件名	物件所在地	物件総戸数
ジオ池田満寿美町ソシア	大阪府池田市	50戸
ジオ芦屋楠町	兵庫県芦屋市	40戸
ジオタワー高槻ミュージズフロント※	大阪府高槻市	450戸
ジオ西院天神川	京都府京都市	81戸
ジオ長岡天神	京都府長岡京市	36戸
ジオ関目高殿	大阪府大阪市	52戸
ジオグランデ寺町御池	京都府京都市	40戸
ジオ西新宿ツインレジデンス	東京都新宿区	72戸
ジオ市ヶ谷弘方町	東京都新宿区	41戸
ジオ成城学園前	東京都世田谷区	31戸
ジオ杉並高井戸	東京都杉並区	137戸
ジオ目黒	東京都目黒区	89戸

2013年度 主な竣工予定物件(近畿圏・首都圏毎に竣工予定順)

物件名	物件所在地	物件総戸数
ジオ高槻ミュージズEX	大阪府高槻市	172戸
ジオタワー天六	大阪府大阪市	400戸
ジオグランデ夙川相生町	兵庫県西宮市	43戸
グランフロント大阪オーナーズタワー※	大阪府大阪市	525戸
ジオ門前仲町 冬木	東京都江東区	45戸
East Gate SQUARE※	東京都江東区	365戸
ジオ桜新町クラッシィ※	東京都世田谷区	73戸

「グッドデザイン賞」3年連続受賞
＜2012年度の受賞プロジェクト＞

- ◆「ジオ」の入居者で行う
廃油回収活動(Geo Fit +eco)と、
阪急バスによる
バイオディーゼルバスの運行
- ◆ジオ伊丹ザ・レジデンス

※: 共同事業物件



単位：百万円

	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	差 引
営業収益	57,492	54,231	+3,261
営業利益	11,000	8,940	+2,060

(スポーツ事業)：阪神タイガースの公式戦主催試合数が増加(前期61試合→今期68試合)したほか、
減価償却費の減少等により増収増益

(ステージ事業)：宙組トップスターの退団公演や月組公演「ロミオとジュリエット」が好評を博すとともに、歌劇関連商
品が好調に推移したこと等により増収増益

(コミュニケーション・メディアその他事業)：
姫路ケーブルテレビ(株)の新規連結などにより増収増益

'12年度第2四半期実績(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
スポーツ事業	181億円	+3億円
ステージ事業	137億円	+11億円
コミュニケーション・メディアその他事業	284億円	+19億円

※別途、調整額あり

単位：百万円

	’12年度第2四半期累計	’11年度第2四半期累計	差 引
営業収益	38,567	33,965	+4,602
営業利益	5,846	1,920	+3,925

(旅行):前期の東日本大震災の影響からの回復のほか、積極的な販売活動によりヨーロッパ方面を中心に海外旅行が好調に推移したこと等から、大幅に増収増益

(国際輸送):貨物需要が弱含みで推移し減収も、オペレーションコストの減少等により増益

’12年度第2四半期実績(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
旅行事業	202億円	+53億円
国際輸送事業	183億円	△7億円

※別途、調整額あり

【旅行事業 2012年度第2四半期の概況】

◆海外旅行 業界 第 3 位 (注)
取扱高 1,490 億円 (前期比 +23.6%)

◆国内旅行 業界 第 6 位 (注)
取扱高 665 億円 (前期比 +31.7%)

◆総取扱高 業界 第 2 位 (注)
取扱高 2,158 億円 (前期比 +26.1%)

※(注)取扱高は、4月-9月までの合計値。業界順位は、4月-8月までの合計値による順位。
観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」より

【海外旅行】

東日本大震災後の旅行自粛ムードの反動や円高の追い風もあり、積極的な販売促進が奏功して、主力の欧州方面を中心に、各方面とも好調に推移。

【国内旅行】

前年度は東日本大震災により甚大な影響を受けたが、その反動もあり関東方面の集客が増加するなど、順調に回復。

【阪急交通社旅行ブランド】

行きたい旅、見つかる。



見つけた! 私だけの旅



旅。あなたにふさわしく



ともに、感動。深まる。



「思いどおりの旅」という贅沢を。



【国際輸送事業 2012年度第2四半期の概況】

◆売上高※1 370億円 (前期比 △6.3%)
日本 203億円 (前期比 △12.7%)※2
海外 167億円 (前期比 +2.8%)※3

※1. 輸出運賃原価相当分を含む

※2. 国内法人(4月-9月)の単純合計

※3. 海外法人(1月-6月)の単純合計、12年6月末の為替レートで換算

【概況】

欧州の景気低迷を背景に、アジア発輸出、欧州着輸入の取扱量が減少するなど、厳しい事業環境で推移。

【施策】

台湾やベトナム、ブラジルに拠点を増やしグローバルネットワークの拡充を図るなど、お客様により高品質なサービスを提供できる体制の強化を推進。

【阪急阪神エクスプレスのグローバルネットワーク】

拠点数：国内35／海外96



単位：百万円

	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	差 引
営業収益	31,513	30,291	+1,221
営業利益	△242	△931	+689

- ・ 前期の東日本大震災の影響(宿泊の減少や宴会の自粛)からの需要回復などにより増収になるとともに、損益が改善



レム新大阪

2012年9月21日オープン

所在地:大阪市淀川区宮原1丁目(JR新大阪駅北口直結)
新大阪阪急ビル内

ホテル概要: 3階 ホテルメインエントランス及び朝食会場
12階 ホテルロビー及び客室
13～17階 ホテル客室

客室数: 296 室

シングル 255 室 (14.4 m²)

ツイン 41 室 (20.6～22.9 m²)

開業記念プラン「ファーストステイ」(2013年2月28日まで)

シングル 7,000円(1名様)

<http://www.remm.jp/shinosaka/>

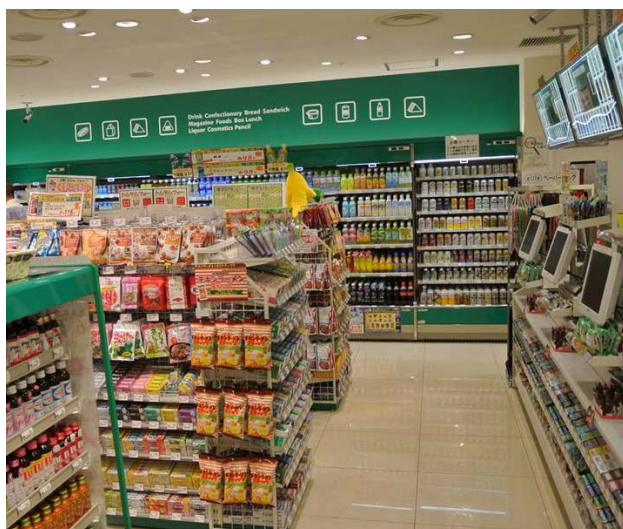


単位：百万円

	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	差 引
営業収益	26,671	27,122	△451
営業利益	927	762	165

- ・ 退店及び事業の見直し等により減収となるも、コスト抑制により増益

アズナス、アズナスエクスプレス 新店オープン



アズナス
阪急三番街B1店

- 2012年7月25日、阪急三番街(大阪市北区)南館B1階にアズナス阪急三番街B1店(約111㎡)を開店。
- 営業時間 7:00～23:00



アズナスエクスプレス
阪神三宮東口店

- 2012年3月20日、阪神三宮駅(神戸市中央区)東改札口横に、アズナスエクスプレス阪神三宮東口店(約52㎡)を開店。
- 営業時間 7:00～22:00

クックデリ御膳 新店オープン



クックデリ御膳
住道店

- 2012年5月7日、JR学研都市線住道駅(大阪府大東市)に直結する「アルビ住道」内に、クックデリ御膳住道店(約77㎡)を開店。
- 営業時間 10:00～21:00

単位：百万円

	'12年度第2四半期累計	'11年度第2四半期累計	差 引
営業収益	12,821	11,649	+1,171
営業利益	△283	△9	△274

- ・ 建設業などにおいて増収となるも、採算性の悪化により損失拡大

Ⅲ. 2012年度(2013年3月期) 通期業績予想

2012年度業績予想修正(総括)

	11年度 通期実績 ①	12年度 当初予想 (12年5月15日) ②	12年度 今回修正予想 (12年10月30日) ③	=③-①	=③-②
営業収益	6,497億円	6,700億円	6,800億円	+303億円	+100億円
営業利益	738億円	780億円	830億円	+92億円	+50億円
経常利益	654億円	600億円	680億円	+26億円	+80億円
当期純利益	393億円	300億円	320億円	△73億円	+20億円

《業績予想修正の概要》

不動産事業において、マンション分譲事業が好調に推移していることに加え、旅行事業において、海外旅行がヨーロッパ方面を中心に大きく伸長していること等から、営業収益及び営業利益は当初予想を上回る見込みである。これに加え、支払利息の減少等を織り込むことで、経常利益及び当期純利益についても当初予想から上方修正している。

2012年度業績予想修正 セグメント別の変動要因

[単位:億円]

上段:営業収益 下段:営業利益	11年度 通期実績 ①	12年度 当初予想 (5月発表) ②	12年度 今回予想 ③	=③-①	=③-②	営業利益予想の主な変動要因
合計	6,497	6,700	6,800	+303	+100	P.32参照
	738	780	830	+92	+50	
[主な内訳]						
都市交通	1,927	1,911	1,923	△4	+12	鉄道運輸収入の増加等
	323	315	320	△3	+5	
不動産	1,761	1,938	1,980	+219	+42	マンション分譲事業の好調、 梅田阪急ビル オフィスタワー稼働率向上等
	291	335	355	+64	+20	
エンタテインメント・ コミュニケーション	1,023	1,087	1,076	+53	△11	阪神タイガースの観客動員数の減少等
	101	105	101	△0	△4	
旅行・国際輸送	676	700	719	+43	+19	旅行事業において海外旅行がヨーロッパ方面を中心 に大きく伸長
	32	40	57	+25	+17	
ホテル	641	665	648	+7	△17	事業再編により減収も、利益はほぼ当初予想どおり
	△3	5	5	+8	—	
流通	539	546	541	+2	△5	コスト抑制等により、利益はほぼ当初予想どおり
	13	13	13	△0	—	

《阪急電鉄》

	収入				人員			
	2012年度 修正予想	2011年度実績	比較増減	比較増減率	2012年度 修正予想	2011年度実績	比較増減	比較増減率
	百万円	百万円	百万円		千人	千人	千人	
定期外	60,469	60,268	200	0.3%	307,262	306,349	912	0.3%
定期	29,823	29,922	△ 98	△0.3%	301,645	302,282	△ 637	△0.2%
うち通勤	25,524	25,629	△ 104	△0.4%	207,821	208,689	△ 868	△0.4%
うち通学	4,298	4,292	5	0.1%	93,824	93,592	231	0.2%
合計	90,292	90,191	101	0.1%	608,907	608,632	274	0.0%

《阪神電気鉄道》

	収入				人員			
	2012年度 修正予想	2011年度実績	比較増減	比較増減率	2012年度 修正予想	2011年度実績	比較増減	比較増減率
定期外	19,365	19,422	△ 56	△0.3%	109,031	109,284	△ 253	△0.2%
定期	10,701	10,623	78	0.7%	109,658	109,275	382	0.4%
うち通勤	9,579	9,505	74	0.8%	86,763	86,363	399	0.5%
うち通学	1,121	1,118	3	0.3%	22,895	22,912	△ 17	△0.1%
合計	30,067	30,045	22	0.1%	218,689	218,560	128	0.1%

※阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計

2012年度業績予想修正 経営管理指標と有利子負債

(A)11年度実績		(B)12年度 当初予想 (12年5月15日)	(C)12年度 今回修正予想 (12年10月30日)
連結有利子負債/EBITDA倍率	8.9倍	8.5倍	8.2倍
連結有利子負債	11,836億円	11,600億円	11,500億円
連結EBITDA	1,335億円	1,370億円	1,410億円
連結純有利子負債/EBITDA倍率	8.7倍		
連結純有利子負債	11,601億円		
連結ROE	7.9%	6.0%	6.2%
D/Eレシオ	2.3倍	2.2倍	2.1倍

【ご参考】株主資本のうち、阪急電鉄の土地再評価差額金に由来する金額(会社分割に伴い株主資本となる)(93,608百万円)を控除したと仮定した場合の指標

連結ROE	9.8%
D/Eレシオ	2.8倍

[注]

- ① EBITDAは「営業利益＋減価償却費＋経営統合に伴うのれん償却額」で算出。
- ② 連結ROEの算出にあたっては、分母に自己資本の期首期末平均を使用している。

2012年度業績予想修正 (ご参考)セグメント別の設備投資・減価償却費

	11年度 通期実績 ①	12年度 当初予想 (12年5月15日) ②	12年度 今回修正予想 (12年10月30日) ③	=③-①	=③-②
	億円	億円	億円	億円	億円
設備投資	553	710	710	+157	—
[主な内訳]					
都市交通	203	292	270	+67	△22
不動産	274	318	314	+40	△4
エンタテインメント・コミュニケーション	44	52	57	+13	+4
旅行・国際輸送	10	19	17	+7	△2
ホテル	13	27	26	+13	△1
流通	7	20	20	+13	+0
減価償却費	570	560	553	△17	△7
[主な内訳]					
都市交通	280	273	266	△14	△7
不動産	168	166	165	△3	△2
エンタテインメント・コミュニケーション	75	81	80	+5	△1
旅行・国際輸送	15	14	15	△0	+1
ホテル	25	22	22	△3	△0
流通	8	9	8	△0	△0

2012年度業績予想修正 (ご参考)セグメント別のEBITDA

	11年度 通期実績 ①	12年度 当初予想 (12年5月15日) ②	12年度 今回修正予想 (12年10月30日) ③	=③-①	=③-②
EBITDA	億円 1,335	億円 1,370	億円 1,410	億円 +75	億円 +40
[主な内訳]					
都市交通	604	589	586	△18	△3
不動産	459	500	520	+61	+20
エンタテインメント・コミュニケーション	177	186	181	+4	△5
旅行・国際輸送	46	54	72	+25	+18
ホテル	23	28	27	+4	△1
流通	22	21	21	△0	△0

IV. 参考資料

都市交通事業		不動産事業		旅行・国際輸送事業	
鉄道	阪急電鉄 阪神電気鉄道 能勢電鉄 北大阪急行電鉄 北神急行電鉄 神戸高速鉄道 阪急阪神レールウェイ・テクノロジー 阪急阪神電気システム 阪急レールウェイサービス	不動産賃貸・ 不動産分譲	阪急電鉄 阪神電気鉄道 阪急不動産 阪神不動産 大阪ダイヤモンド地下街	旅行	阪急交通社 阪急阪神ビジネストラベル 阪急トラベルサポート
自動車	阪急バス 阪神バス 阪急観光バス 阪急田園バス 大阪空港交通 阪急タクシー 阪神タクシー 阪急阪神エムテック ニッポンレンタカー阪急 阪急ドライビングスクール服部緑地 ハックス阪神	その他	阪急阪神ビルマネジメント 阪急阪神セキュリティサービス 阪急阪神テクノサービス 阪急阪神クリーンサービス 阪急リート投信 阪急インベストメント・パートナーズ	国際輸送	阪急阪神エクスプレス 阪急阪神ロジパートナーズ HANKYU HANSHIN EXPRESS (USA, UK, NETHERLANDS, DEUTSCHLAND, HONG KONG, SINGAPORE, THAILAND, PHILIPPINES, MALAYSIA, INDONESIA, VIETNUM, SHANGHAI(2社), GUANGZHOU, BEIJING, TAIWAN, KOREA, INDIAの18社)
その他	アルナ車両 阪急設計コンサルタント 阪神ステーションネット	エンタテインメント・コミュニケーション事業		その他	阪急阪神交通社ホールディングス
		スポーツ	阪神電気鉄道 阪神タイガース ウエルネス阪神	ホテル事業	
		ステージ	阪急電鉄 宝塚クリエイティブアーツ 宝塚舞台 梅田芸術劇場	ホテル	阪急阪神ホテルズ 阪神ホテルシステムズ 阪急阪神レストランズ 高知新阪急ホテル 有馬ビューホテル 天橋立ホテル 第一ホテル九州
		コミュニケーション メディアその他	阪急アドエージェンシー 阪神コンテンツリンク 阪急コミュニケーションズ バイ・コミュニケーションズ 阪神ケーブルエンジニアリング アイテック阪急阪神 システム技研 阪急アミューズメントサービス 阪神総合レジャー 六甲摩耶鉄道 ユミルリンク 姫路ケーブルテレビ	流通事業	
				流通	阪急電鉄 阪急リテールズ いいなダイニング ブックファースト

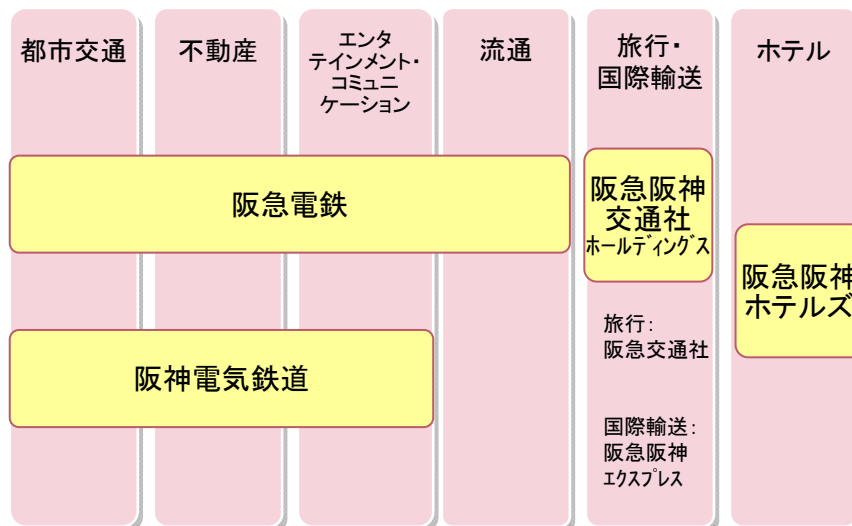
2012年9月30日現在

【凡例】

「コア事業」の名称	
「事業別セグメント」 における業種の名称	連結子会社の名称(「コア事業」として 管理している会社のみ記載)

運営体制

阪急阪神ホールディングス

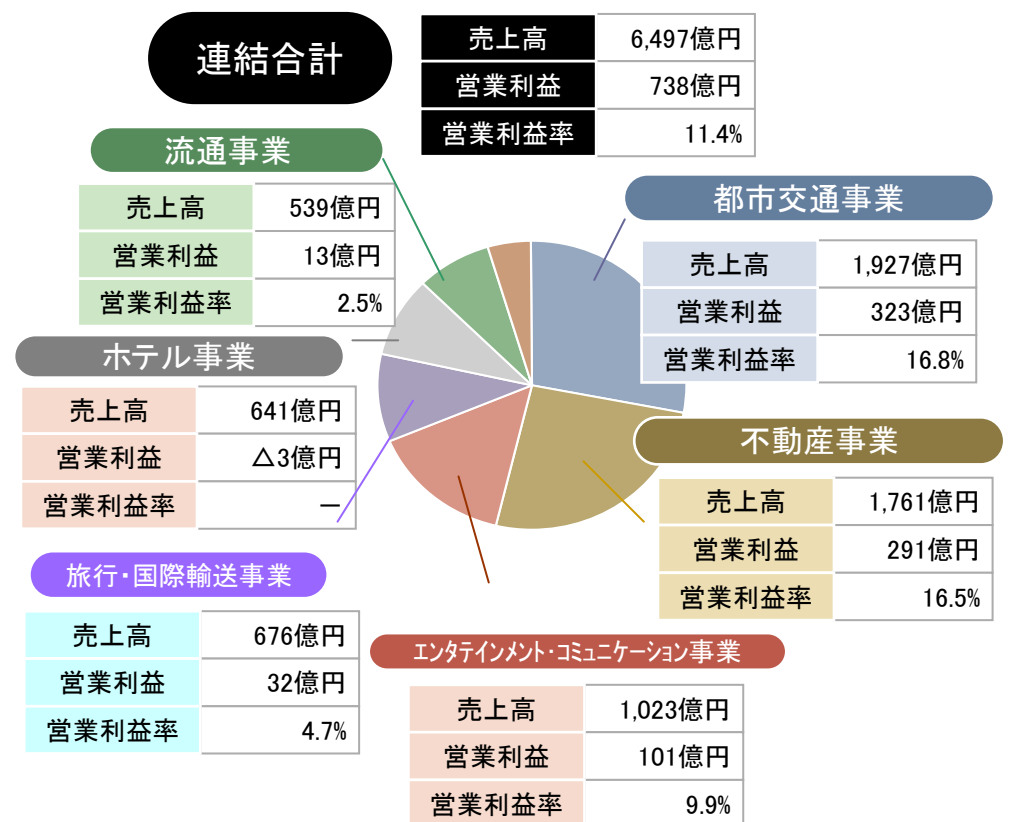


2012年3月31日現在

収益構造

- 都市交通事業、不動産事業の2事業で
売上高の約6割、営業利益の約8割を占める

営業収益構成(2011年度連結ベース)



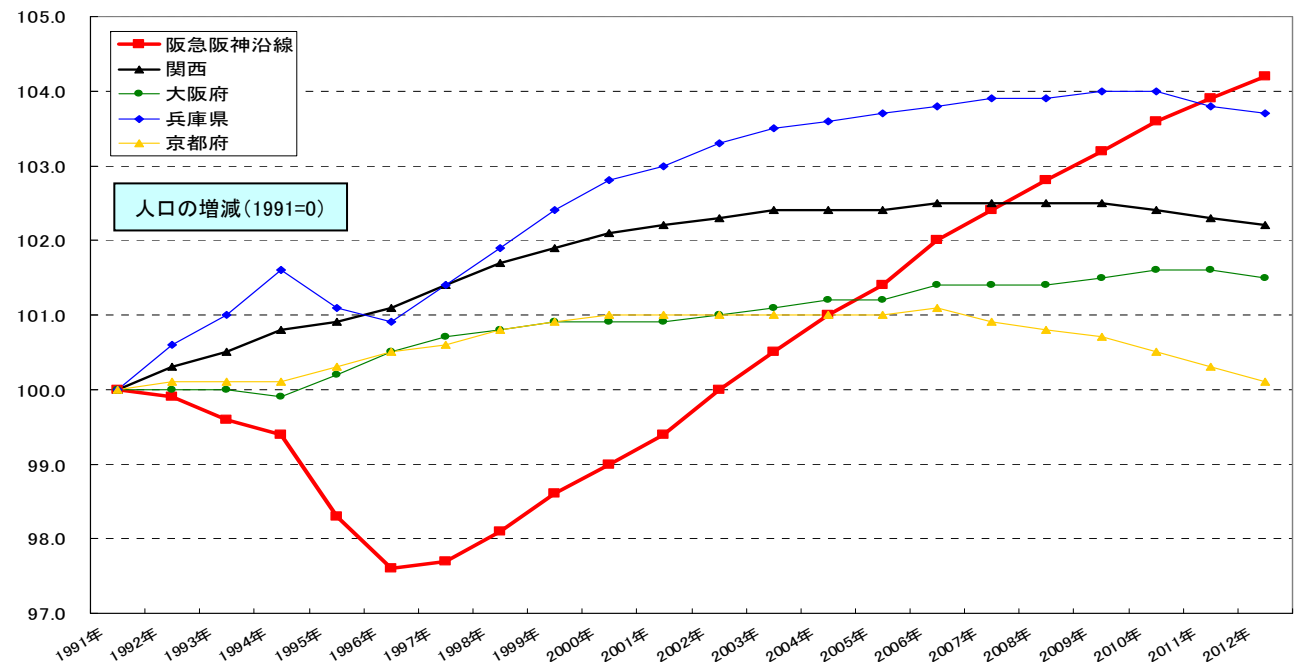
営業路線と主要プロジェクト



人口推移

出所) 地域経済要覧(東洋経済)より、
住民基本台帳人口、2012年3月末

	面積(km ²)	人口(千人)
阪急・阪神沿線	1,310	5,512
大阪府(沿線)	446	2,588
兵庫県(沿線)	466	2,261
京都府(沿線)	398	662
阪急・阪神沿線外	26,033	15,098
大阪府(沿線外)	1,453	6,092
兵庫県(沿線外)	7,930	3,311
京都府(沿線外)	4,215	1,880
滋賀県	4,017	1,394
奈良県	3,691	1,401
和歌山県	4,726	1,019
合 計	27,343	20,632



住んでみたい街アンケート(関西圏)

出所) Major7(住友不動産他7社)による調査(2012年9月27日)

順位	地名	(所在)	順位	地名	(所在)
1	芦屋	(兵庫県芦屋市)	11	御影	(兵庫県神戸市)
2	西宮	(兵庫県西宮市)	12	大阪市内	(大阪府大阪市)
3	夙川	(兵庫県西宮市)	13	神戸市内	(兵庫県神戸市)
4	神戸	(兵庫県神戸市)	14	高槻	(大阪府高槻市)
5	岡本	(兵庫県神戸市)	15	難波	(大阪府大阪市)
6	梅田	(大阪府大阪市)	16	天王寺	(大阪府大阪市)
7	京都	(京都府京都市)	17	茨木	(大阪府茨木市)
8	千里中央	(大阪府豊中市)	18	宝塚	(兵庫県宝塚市)
9	三宮	(兵庫県神戸市)	19	豊中	(大阪府豊中市)
10	大阪	(大阪府大阪市)	19	箕面	(大阪府箕面市)

阪急・阪神沿線 : 阪急電鉄、阪神電気鉄道の駅のある次の地域とする(第2種鉄道事業を含む)

大阪府 : 大阪市(24区のうち福島区、此花区、西区、浪速区、西淀川区、東淀川区、淀川区、北区、中央区)、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町

兵庫県 : 神戸市(9区のうち東灘区、灘区、兵庫区、長田区、中央区)、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市

京都府 : 京都市(11区のうち中京区、下京区、右京区、西京区)、向日市、長岡京市、大山崎町

ランキング上位エリアは16位の天王寺を除き
全て阪急・阪神沿線である

関西民鉄各社の概要

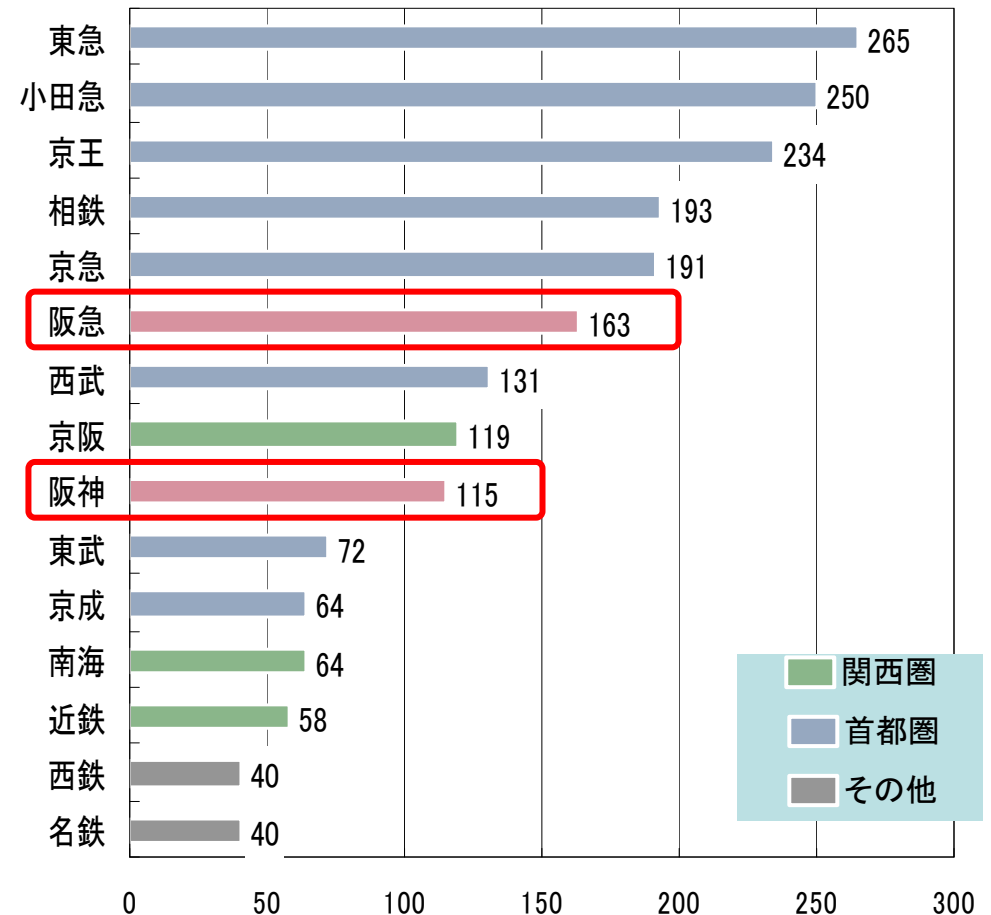
* 相互乗入れによる他社との共同管理駅を除く

	営業 キロ	輸送人員 (1日平均)	総駅数 *	乗降者数 が1日 5,000人 未満の 駅数①*	総駅数に ①が 占める 比率 *
近鉄	508.1km	1,551千人	294駅	175駅	60%
阪急	143.6km	1,667千人	86駅	4駅	5%
南海	154.8km	612千人	99駅	51駅	52%
京阪	91.1km	765千人	89駅	34駅	38%
阪神	48.9km	599千人	51駅	10駅	20%

出所)国土交通省ホームページより 2012年3月末現在、
社団法人日本民営鉄道協会「大手民鉄の素顔」より
2012年3月末現在(第2種鉄道事業を含む)

輸送密度(1日平均旅客輸送人員/営業km)

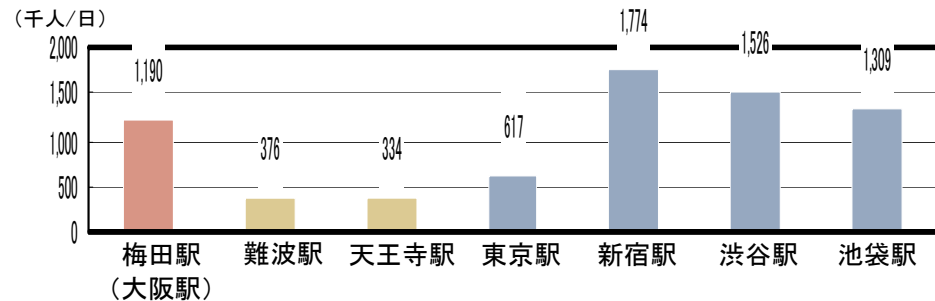
千人/日



出所)社団法人日本民営鉄道協会「大手民鉄の素顔」より
2012年3月末現在(第2種鉄道事業を含む)

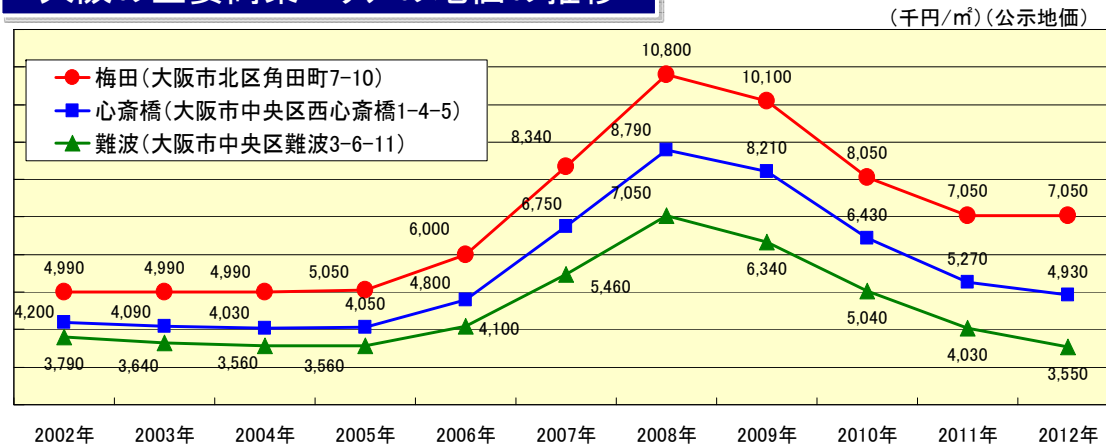
駅乗車人員

出所)都市交通年報平成22年版(運輸政策研究機構)を参考



梅田(大阪): 大阪市交通局(西梅田・東梅田を含む)、JR西日本、阪急、阪神
 難波: 近鉄、南海、大阪市交通局
 天王寺: JR西日本、近鉄(阿倍野橋)、阪堺、大阪市交通局
 東京: JR東日本、東京地下鉄
 新宿: JR東日本、京王、小田急、東京都交通局、東京地下鉄、西武
 渋谷: 東急、JR東日本、東京地下鉄、京王
 池袋: JR東日本、東武、西武、東京地下鉄

大阪の主要商業エリアの地価の推移



主な商業施設の売場面積

●当社関連施設

阪急百貨店 (阪急うめだ本店)	グランドオープン (11/21予定)後 約80,000㎡
阪神百貨店	約53,000㎡
阪急三番街	約40,000㎡
HEP FIVE	約23,000㎡
HEP NAVIO	約21,000㎡
ハービスPLAZA ENT	約21,000㎡
NU chayamachi	約12,000㎡
ハービスPLAZA	約9,000㎡
ディアモール大阪	約7,200㎡
NU chayamachi プラス	約3,000㎡

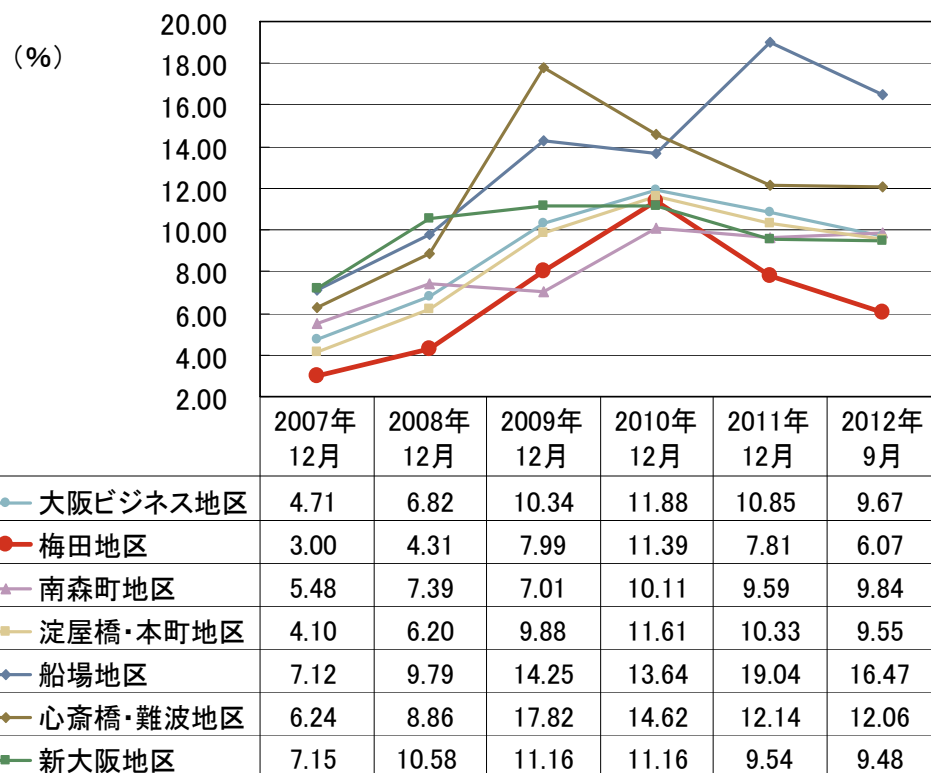
●当社以外の施設

大丸梅田店	約64,000㎡
ヨドバシカメラ [ヨドバシ梅田全館]	約50,000㎡
JR大阪三越伊勢丹	約50,000㎡
LUCUA(ルクア)	約20,000㎡
ヒルトンプラザイースト	約11,000㎡
ヒルトンプラザウエスト	約8,000㎡
ホワイティうめだ	約14,000㎡
イーマ	約8,000㎡

出所)

当社データ、各社ホームページ、
 全国大型小売店総覧(株東洋経済新報社)、日本ショッピングセンター協会資料

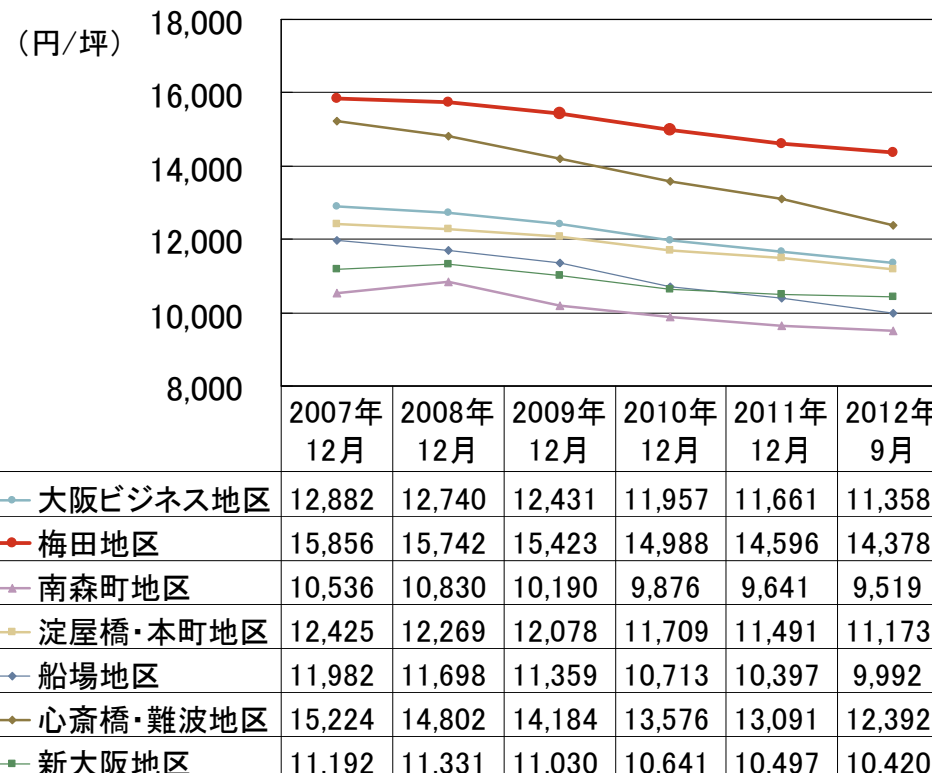
大阪ビジネス地区 主要6地区別
平均空室率の推移



(ご参考)

東京都心5区平均	2.89	2.65	4.72	8.09	9.01	8.90
----------	------	------	------	------	------	------

大阪ビジネス地区 主要6地区別
平均賃料の推移



(ご参考)

東京都心5区平均	19,406	21,998	22,186	18,978	16,932	16,675
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

当社主要賃貸施設

(2012年3月現在)

ビル名	賃貸可能面積 (㎡)	概要	竣工・完成時期
大阪神ビル (阪神百貨店)	98,578	地下6階地上11階建	1963年 6月
梅田阪急ビル	※1 126,096	地下2階地上41階建	2012年11月 (予定)
梅田阪神第1ビル (ハービスOSAKA)	81,702	地下5階地上40階建	1997年 3月
梅田阪神第2ビル (ハービスENT)	54,787	地下4階地上28階建	2004年11月
阪急茶屋町ビル (ちゃやまちアブローズ)	52,065	地下3階地上34階建	1992年11月
阪急三番街	40,808	地下2階地上5階建 (一部地下4階建)	1969年11月
阪急グランドビル	34,923	地下3階地上32階建	1977年 8月
阪急ターミナルビル	26,721	地下4階地上18階建	1972年 3月
ナビオ阪急 ※2 (HEP NAVIO)	15,711	地下2階地上10階建	1980年10月
阪急ファイブビル ※2 (HEP FIVE)	12,613	地下3階地上10階建	1998年11月
梅田センタービル ※2	10,085	地下2階地上32階建	1987年 3月
Nu chayamachiプラス	3,021	地下1階地上3階建	2011年 4月

※1 百貨店Ⅱ期棟部分を除く

※2 他者との共同所有で、賃貸面積は当社所有分。

梅田地区周辺での開発動向

赤字＝当社が関与

- ① 梅田阪急ビル建替
- ② うめきた(大阪駅北地区) 先行開発区域(A・B・Cブロック)
- ③ 新ダイビル建替 ーダイビル株
- ④ ヨドバシカメラ開発 ー(株)ヨドバシカメラ
- ⑤ 大阪中央郵便局等建替え ー日本郵政(株)他



* HEPファイブは阪急リート投資法人との共同所有物件

ホテル一覽

※ 直営ホテル・・・阪急阪神ホールディングスの連結決算上、宿泊・宴会・飲食の売上を営業収益に計上しているホテル
※ 下記のホテル数・客室数には、ザ・リッツ・カールトン大阪(大阪市北区 292室)は含まない

直営ホテル(阪急阪神ホテルズ)	18ホテル	4,325室	} 50ホテル 10,472室
その他(FC等)	32ホテル	6,147室	



阪急阪神第一ホテルグループ

第一ホテル東京
第一ホテルアネックス
東京新阪急ホテル築地
第一ホテル東京シーフォート
吉祥寺第一ホテル
レム日比谷
レム秋葉原
ホテル阪急インターナショナル
大阪新阪急ホテル
新阪急ホテルアネックス
ホテル阪神
レム新大阪
千里阪急ホテル
ホテル阪急エキスポパーク
宝塚ホテル
六甲山ホテル
京都新阪急ホテル
レム鹿児島

アワーズイン阪急
梅田OSホテル
東京第一イン八戸
東京第一イン八戸アネックス

モンタナリゾート
東京第一ホテル鶴岡
東京第一ホテル米沢
第一ホテル両国
第一イン池袋
第一イン湘南
万代シルバーホテル
富山第一ホテル
第一イン新湊
ホテルコンコルド浜松
東京第一ホテル錦
大阪第一ホテル
ホテルボストンプラザ草津
ホテルロイヤルヒル福知山
天橋立ホテル
ノホテル甲子園
有馬ビューホテル うらら
真庭リバーサイドホテル
呉阪急ホテル
高知新阪急ホテル
東京第一ホテル下関
高松国際ホテル
ホテルクレメント徳島
東京第一ホテル松山

今治国際ホテル
タカラホテル福岡
東京第一ホテルオキナワグランメールリゾート
東京第一ホテル那覇シティリゾート

ホテル所在地

